

学習課題：

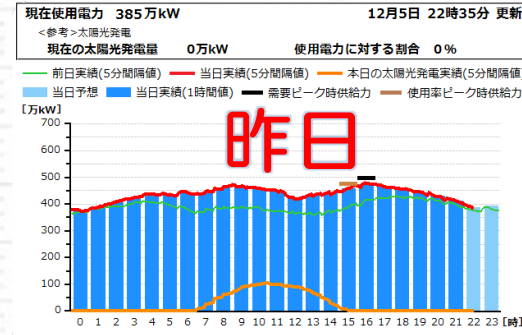
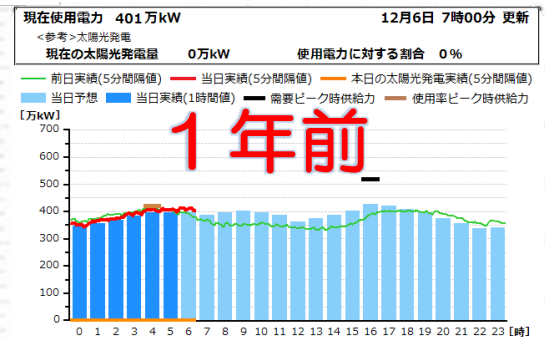
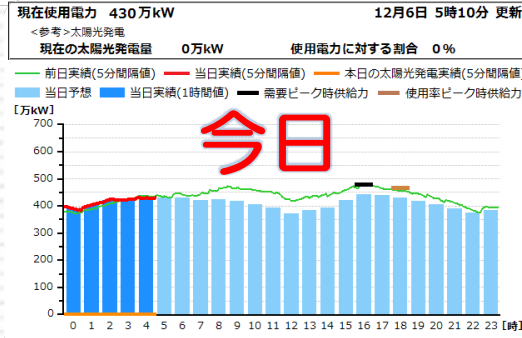
予想・仮説

→ 課題を解決するための「思考の流れ」が分かる記録を残そう！

関連する既習事項

2030年12月の北海道での設備容量(案)

FIT(太陽光・風力)	141 万 kW
新エネ	3 万 kW
揚水	40 万 kW
化石燃料	石油 180 万 kW
	天然ガス 114 万 kW
	石炭 190 万 kW
原子力	207 万 kW
一般水力	125 万 kW
合計	1000 万 kW



Four empty rectangular boxes for recording observations or data.

[ 振り返り ]

課題解決：

・新たに生じた疑問、解決したい内容：

・感動したこと、すごいと感じたこと：

★明るい未来を創造するために、自分にできること：

前回の記述からいくつかを抜粋

Memo 他人の記述から考えたこと

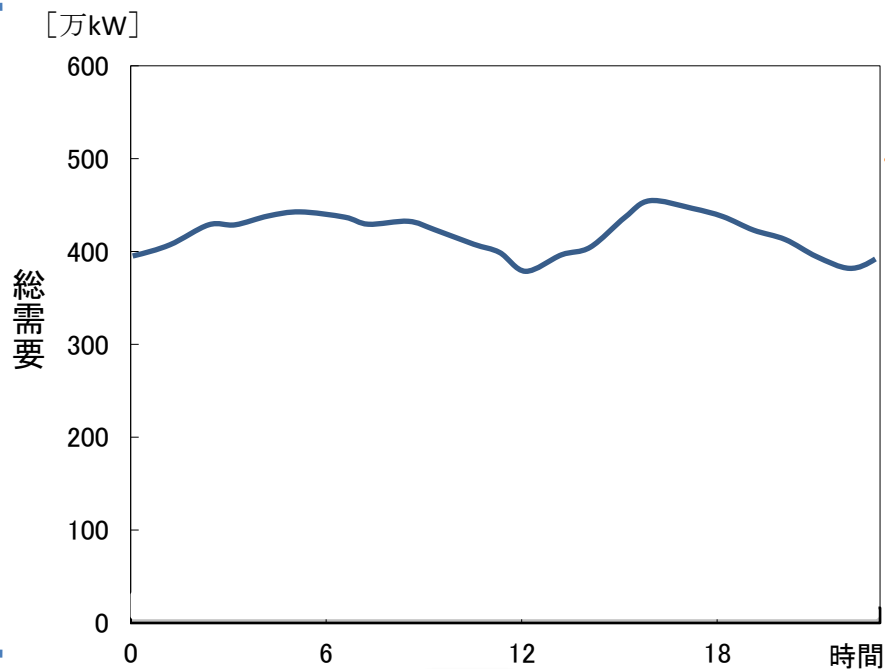
- 1 全ての設備の中で半分くらい使えば電気料をまかなうことができるから、何を使うのかメリット・デメリットを見て、何が良いのか判断できるような学習をしていきたい。1
- 2 マスメディアの情報だけが正解というわけではないと改めて感じた。政府が節電要請をしていたけれど、節電要請がされるまで電気を使いすぎているのに気付かなかったのが、とても申し訳なく感じた。普段から自分たちはたくさんの電気を使っているけれど、それがどれだけ日本に悪影響を与えているのか一人一人が知っていくべきだと思った。1
- 3 北電の人たちへの感謝はどうやって伝えるとよいのか、どんな形で伝えられるといいのかな。1
- 4 北海道だけで見たら、エネルギー自給率はどのくらいなのか。食料自給率はとても高いと聞いた。1
- 5 太陽光発電している時も火力発電所が待機しているのなら、再生可能エネルギーの意味がほぼないのでは…？1
- 6 発電量の数値を改めて見ると、原子力がすごい力をもっているんだなと思った。1
- 7 毎朝、でんき予報を見てみようと思う。今日はどれくらい電力を使うのか、昨日と比べてどれくらい使っているのか、青信号・黄色信号・赤信号のどれなのか、ピークはどこにあるのか、色々な所から自分の予想を広げ、考え、自分の意見を持つ力を付けようと思う。1
- 8 1000 万 kW も電力をつくる能力があるって、総額何円ぐらいするのだろうか。1
- 9 授業で習ったことを家族や周りの人に伝え、エネルギー問題の解決を目指していくことが必要だと思った。1
- 10 原子力と石炭の電力量はほとんど同じだが、値段を考えると原子力の方がコスパが良いなと改めて感じた。1
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18

<先生から>  
・これまでの学習を総動員し、**多面的・多角的な視点**でものごとを考えていこう。仲間と多様な意見を交流し合い、**合意形成**を図りながら、**納得解・最適解**を導き出す過程が大切です。

◎調べたいこと【 】

調べた内容→  
(出典も記すこと)

交流前の自分の考え



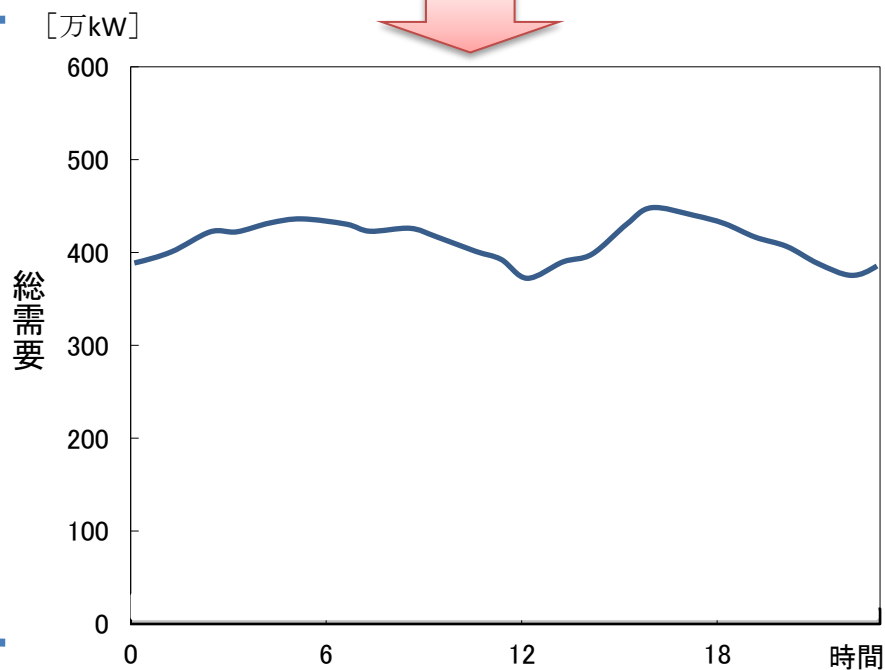
買い取る太陽光・風力発電のバックアップ電源をどのようにするか

ピーク発電の内容(方法)とその理由

ミドル発電の内容(方法・発電量)とその理由

ベースロード発電の内容(方法・発電量)とその理由

交流後の自分の考え

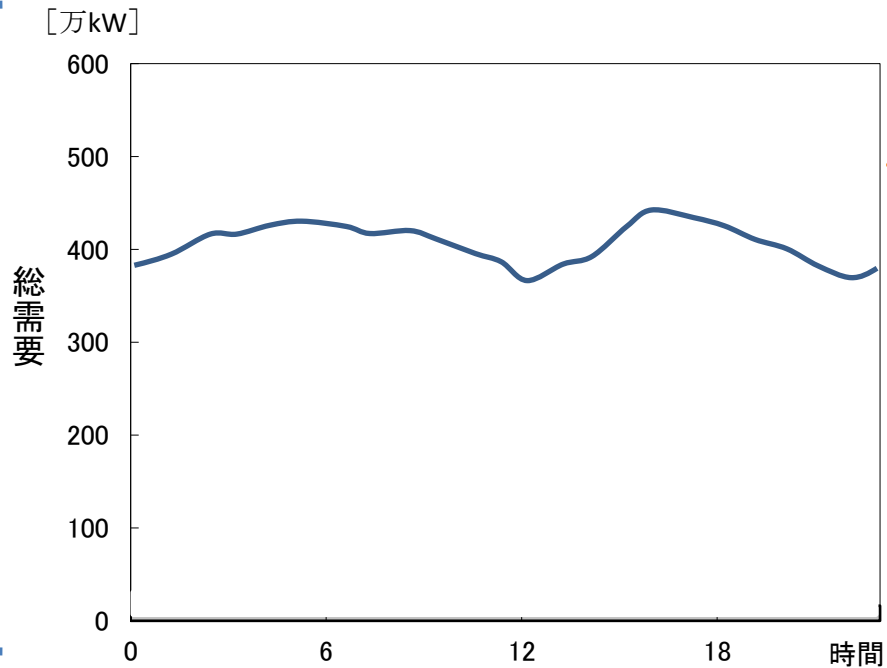


仲間との交流などを通して、変容した自分の考えとその理由

# 3年1組 班 メンバー

---

班の考え



買い取った太陽光発電のバックアップ電源をどのようにしますか

ピーク発電の内容とその理由

ミドル発電の内容とその理由

ベースロード発電の内容とその理由

評価